

# H/Y-2020の表彰にあたって

審査委員長 坂本雄三(東京大学名誉教授)

受賞者のみなさん、おめでとうございます。とはいえ、コロナ禍のために、今年も表彰式が取りやめになってしまい、大変残念です。表彰にあたって、私のコメントをここに掲載します。また、今回の表彰におけるデータも3～7ページに掲載しましたので、参考にしてください。

- 今回は、コロナ禍のためか、2019年度よりは応募数が減少しました(表1参照)。
- しかし、応募住宅の全体的な断熱・省エネ性能は向上しているようで、2019年度よりは、全体の $U_A$ 値やBEIは平均値が若干、向上しました(図2と3参照)。
- そのため、特別優秀賞の受賞数は増加しました(表1参照)。95シリーズの特別優秀賞数は史上最高です。

■ **大賞受賞者について：**

今回は3社の受賞者のうち、2社（エルクホームズ及び健康住宅）が2度目の受賞ということになりました。主催側としては、内心、ベテランの連覇よりニューフェースの登場を期待していますが、にもかかわらず、このような結果になったということは、これらの受賞者が1度目の受賞のときよりは商品を進化させているからです。表1に歴代の大賞受賞シリーズの $U_A$ 値などを掲載しましたので、参考にしてください。

■ **審査委員会は上記のような向上心や、データとして掲載はしてませんが、応募シリーズの竣工棟数比率（全竣工棟数に対する）が高いことを重視しています。今回の大賞受賞は、全社がこの比率が高く、特に、初めての大賞受賞のSANKOはこの比率が100%であり、本表彰の趣旨をよく理解されていると考えます。**

■ **「坂本賞」のワイズホームは、高断熱・省エネ設備に加えて、全館空調という新しいテーマに数年前から独自に取り組まれており、イノベーションに対する積極的なマインドを評価しました。**

■ **今後も、皆さんの向上心とチャレンジ、拡大に期待しています。**

# 表1 歴代の応募数と表彰結果

回数	年度	応募 シリーズ数	優秀賞 シリーズ数	特別 優秀賞 シリーズ数	House of the Year in energy 大賞			
					大賞受賞 シリーズ数	大賞受賞企業名	U <sub>A</sub> [W/m <sup>2</sup> K]	BEI [-]
13	2020	234	117	95	3	エルクホームズ	0.39	0.39
						健康住宅	0.24	0.33
						SANKO	0.30	0.31
12	2019	264	157	82	4	リベスト	0.25	0.43
						コージホーム	0.24	0.35
						アイディール	0.25	0.29
						Isdesign建築設計	0.19	0.24
11	2018	227	144	68	3	泉北ホーム	0.38	0.42
						住まいのウチイケ	0.23	0.50
						鈴木環境建設	0.23	0.40
10	2017	215	137	63	4	ヤマト住建	0.27	0.23
						セイダイ	0.28	0.40
						島野工務店	0.20	0.37
						Isdesign建築設計	0.23	0.26

回数	年度	応募 シリーズ数	優秀賞 シリーズ数	特別 優秀賞 シリーズ数	House of the Year in energy 大賞		
					大賞受賞 シリーズ数	大賞受賞企業名	U <sub>A</sub> [W/m <sup>2</sup> K]
9	2016	214	138	36	3	エルクホームズ	0.51
						健康住宅	0.28
						北信商建	0.27
8	2015	128	87	29	2	一条工務店	0.30
						アイ・ホーム	0.24
7	2014	102	68	24	2	アエラホーム	0.38
						ヤマト住建	0.29
6	2013	57	30	18	1	松下孝建設	0.24
5	2012	54	28	11	1	一条工務店	0.38
	2011	東日本大震災のため中止					
4	2010	53	23	23	2	新昭和	0.48
						松美造園建設工業	0.35
3	2009	43	27	9	2	フィアスホーム	0.49
						日野建ホーム	0.46
2	2008	28	12	8	2	パナホーム	0.74
						サンワホーム	0.29
1	2007	19	8	4	2	一条工務店	0.38
						スウェーデンハウス	0.46

# 表2 2020年度の評価・採点方法

## 評価項目と評価・採点方法(100点満点)

### ◆視点1:外皮・設備の省エネ性能(60点満点)

以下の1)+2)+3)の合計点

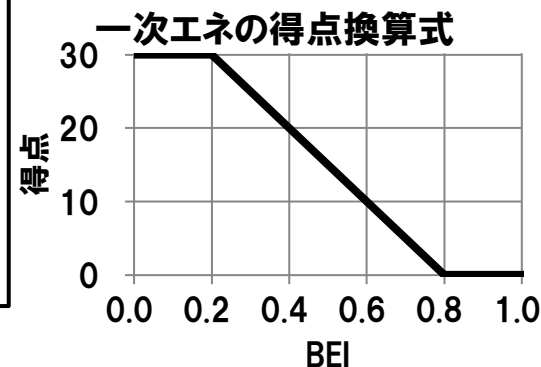
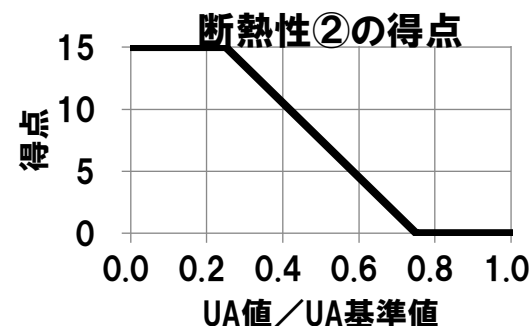
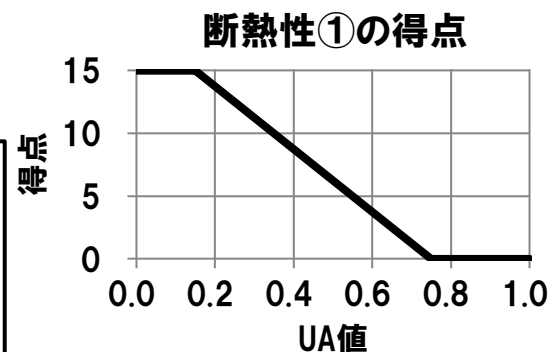
- 1) 断熱性①:UA値で評価⇒15点満点
- 2) 断熱性②:UA値とその基準値の比で評価⇒15点満点
- 3) 1次エネルギー消費量:BEI(基準値に対する比)で評価⇒30点満点

### ◆視点2:省エネへの多角的な取組※(40点満点)

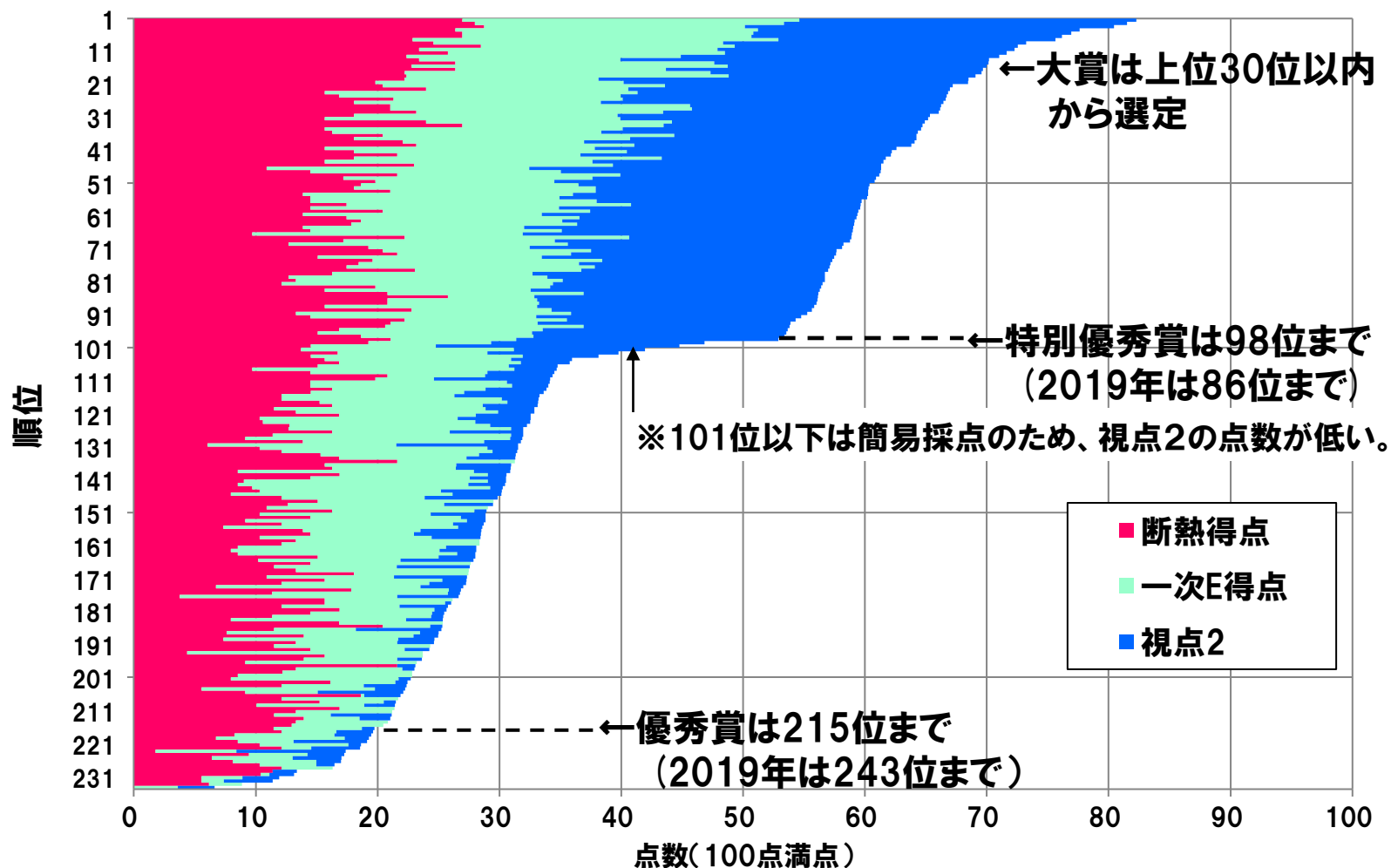
以下の1)+2)の合計点

- 1) 審査員による提出資料の評価⇒30点(10点×3人)
- 2) 申請企業の全竣工棟数、応募シリーズの竣工棟数、気密性能、各種認定取得(ZEHビルダー登録、BELS取得件数など)

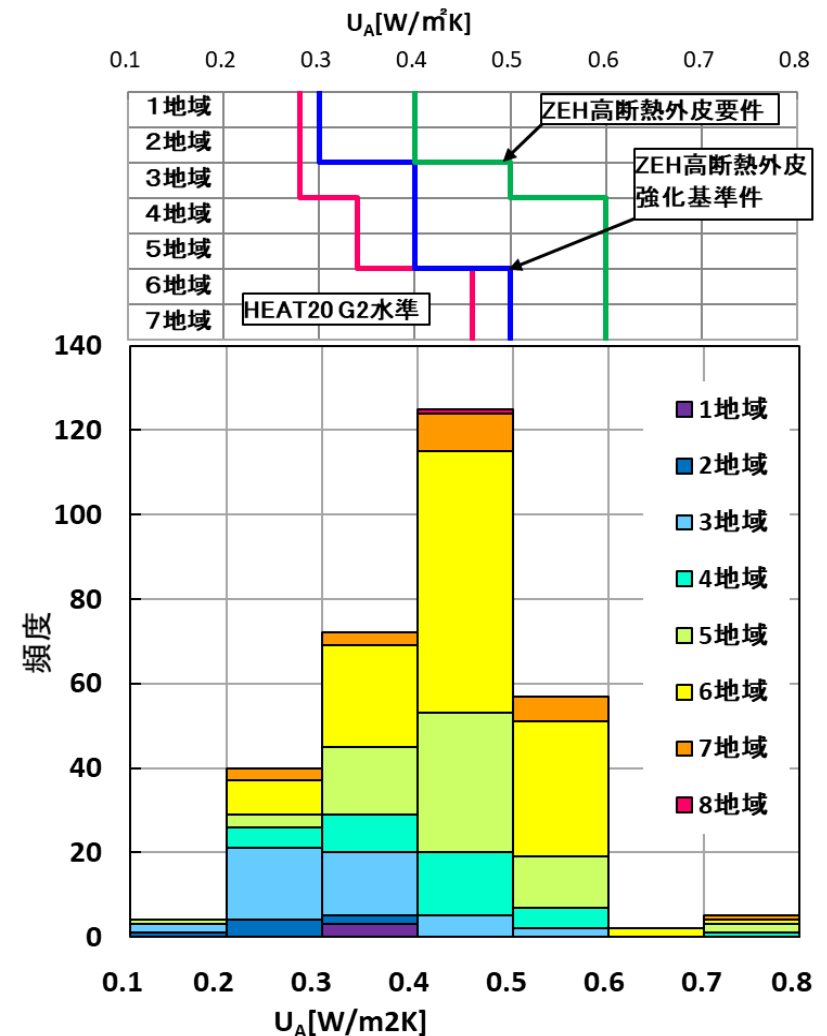
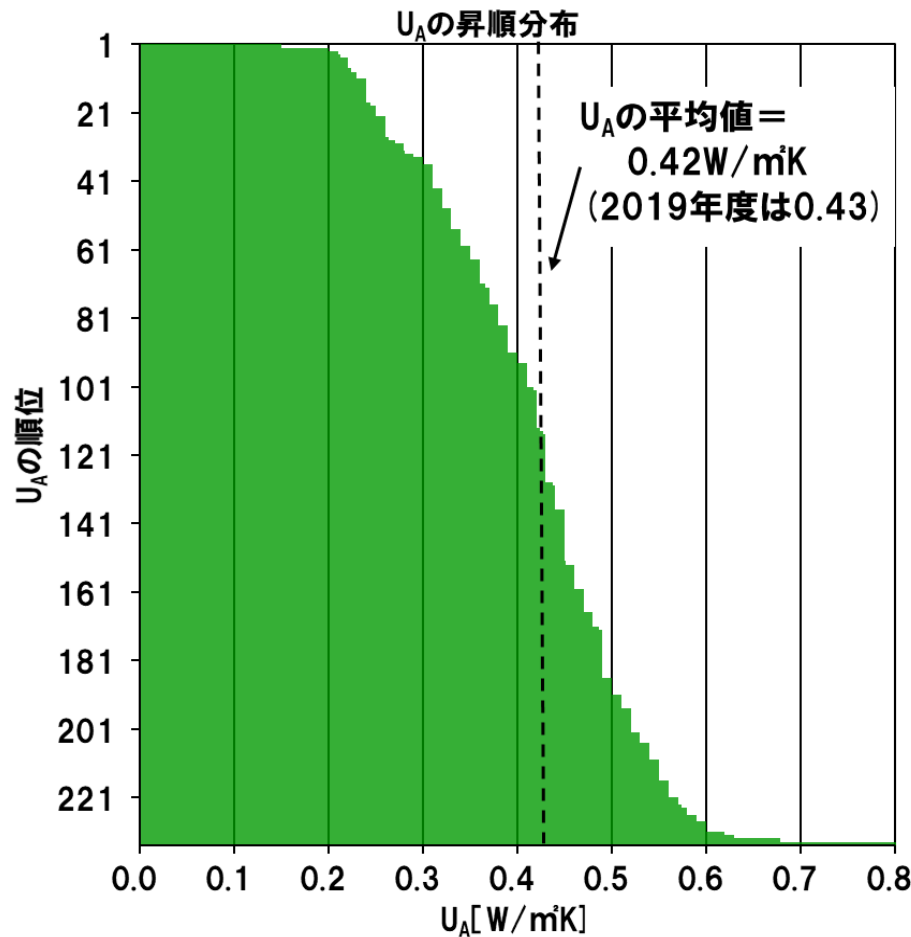
※従来、視点2(多様な省エネ手法の導入)と視点3(省エネ住宅の普及への取組)に分かれていたものを新たに「視点2」として一括した。



# 図1 採点結果と得点の内訳 (2020年度)



# 図2 断熱性( $U_A$ 値)の頻度分布(2020年度)



# 図3 省エネ性 (BEI値) の頻度分布 (2020年度)

